

紫藤新聞



宮城県白石工業高校 報道委員会

〒989-0203 白石市郡山字鹿野43

TEL0224-25-3240 FAX0224-25-1476

新人戦完全制覇

女子

大回転
回転

優勝



3月20日、オニコウベスキー場で行われた宮城県高等学校スキー新人大会で、建築科2年の佐藤あかりさんが、アルペン2冠を達成しました。
佐藤さんは昨シーズン、県総体の大回転でゴール後転倒の優勝をしたものの、右膝靭帯損傷の大けがを負い、その後のシーズンを棒に振ってしまいました。
今大会もその膝の不安を抱え、100%の滑りが出来ないうちでの競技でしたが、大舞台でこころの集中力を発揮し、見事な復活劇を見せてくれました。

■佐藤あかり選手

今シーズンは、良い結果を出せていなかったもので、嬉しかったです。スタート前は、膝のこともあり、とても緊張していました。でも競技中は、集中していたので、気がついていたらいつの間にかゴールしていました。応援に来ていた家族にタイムを確認し、1位だと分かれました。安心感と嬉しさが同時にこみ上げてきました。

◇◇

いつも一緒に練習していた(東根)先輩が、インターハイで良い成績を残したので、自分も頑張つて先輩のようになりたいと思いました。目標となる人が身近にいますとアドバイスももらえたり、自分にとって良いことがたくさんあります。良い所をたくさん真似したいです。

◇◇

オフシーズンは、ケガをした所が練習中に痛くなったりするので、それを補えるような筋肉をつけたいです。負けた時の悔しさを常に忘れず、トレーニングに励みたいですね。

■先輩の東根君

新人大会お疲れ様。自分では納得できない部分もあったかと思うが、取りあえず結果としては良かったのでは。来年は最後の高総体となる。ライバルも多いと思うが、頑張つてほしい。

■顧問の松本先生

昨年の1月にケガをして、雪上トレーニングを開始したのが4月。しかしすぐにシーズン終了。遅れを取り戻すため、夏場はグラススキーやプラスチックでトレーニング。東根は進路活動で不在のことも多く、一人だけの練習が多かったが、粘り強く地道にトレーニングを重ねた。

今年の1月の県総体と国体予選で結果が振るわなかったのは、膝の不安もあったが、周りの選手の成長も大きかった。ケガによるブランクが大きく響いた。その悔しさをバネに新人大会までトレーニングを続けてきた。最近はずつと滑りに変化も見られ、練習での手応えが本物かを確かめる意味でも、今回の結果は非常に良かった。また、3月に全国選抜に出場したことも良い経験になったと思う。
来年の県総体で優勝し、インターハイで良い成績を残すためには改善すべき点が多くある。間もなくシーズンも終わるので一本一本を大事に。